

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【警察庁】

施策番号	15002	施策名		飲酒運転者の医学・心理学的な判定法に関する研究			
新規／継続	新規	領域	豊かな国民生活基盤	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	アルコール関連障害だけでなく、飲酒運転の再犯可能性や再教育の可能性を判定する飲酒運転者を対象とした医学・心理学的判定法の開発を実施することにより、飲酒運転者の認知特性と行動特性に基づく新たな飲酒運転対策を可能とし、飲酒運転の根絶に寄与する。						
達成目標及び達成期限	平成25年度までに、都道府県警察が行っている飲酒運転者の再教育において実施可能な、飲酒運転者の医学・心理学的な判定法を開発することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	・判定法に使用する生体指標や認知指標及び行動指標の候補を20項目程度に絞り込む(平成23年度) ・飲酒運転の再犯可能性等を4段階以上で判定可能な方法を開発する(平成25年度)						
23年度の研究開発目標	平成23年度中に、判定法に使用する生体指標や認知指標及び行動指標の候補を20項目程度に絞り込む。						
施策の重要性	飲酒運転の根絶が政府目標に掲げられる中、対策が困難である常習飲酒運転者に対して、医学・心理学的な新たな方法により解決を図るものであり、安全な交通輸送システムの実現を図る上で重要な施策である。						
実施体制	科学警察研究所を研究主体とし、国内のアルコール関連の医療施設、矯正施設及びドイツ連邦共和国の研究機関と連携する。得られた成果は都道府県警察により利用される予定。矯正施設や医療施設等でも利用可能。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
-				10			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)							
H23概算要求額の内訳	旅費 2百万円 備品費 4百万円 消耗品費 1百万円 雑役務費 5百万円						
期間	H23～H25			資金投入規模(億円)	1		
これまでの成果(継続のみ)							
社会情勢・技術の変化(継続のみ)							
昨年度優先度判定(継続のみ)	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)						
国民との科学・技術対							

話推進への対応(対象
施策のみ)

対象外施策